



霊山太鼓まつり



かあちゃん太鼓



ちびっ子太鼓

霊山町には、親から子へ子から孫へ、代々受け継がれている伝統行事がたくさんあります。

古来より行われてきた祭りには、生きていくことへの真剣な祈りがありました。大地の恵みに感謝し、天地の怒りを恐れる。そして、新たに訪れる季節の豊穡を祈る…。祭りにはそんな人々の祈りが込められています。

霊山神社では、一年をとおしてさまざまな行事が執り行われています。その中でも、四月二十九日に行われる例大祭では、「濫觴の舞」が奉納されます。

これは、北畠顕家が国府を開くために多賀城から霊山城に入城した際に、地元の民が顕家の武運を祈って奉納した剣舞が伝わったものだといわれています。白い鉢巻姿に白だすき、はかま姿もりりしい少年たちが、笛の音にあわせて太刀を天空にかざして進む、古式ゆかしい舞です。

例大祭では、ほかにも雅楽の音色の中で厳かに行われる玉串奉てんの儀式や、年少の少年たちによるかわいらしい獅子舞も奉納されます。

濫觴の舞は、石田鈴嶽神社の秋季例



霊山神社の獅子舞奉納

大祭の年（十月上旬）にも奉納されます。

蓮昌寺では、十一月の第三土・日曜日に十三講会式が行われます。その際には、三色の餅で美しい幾何学模様飾られた、高さ三メートルあまりの餅柱が奉納されます。

八月に行われる霊山太鼓まつりは、まちに伝わる霊山太鼓を、町民全体で楽しむ夏の一大イベントです。

霊山太鼓は約三百年前、江戸時代寛文年間がはじまりといわれ、太くて短い桐のバチで太鼓を曲打ちするのが特徴です。現在では町内の各地区に保存会があり、この祭りの日のため

に練習が重ねられています。

人から人へと伝えられてゆく祭りは、生きた文化財です。時代を超えて伝えられ、時代の中で変化して、そして未来へと受け継がれていきます。

In Ryozen shrine, "Ranjo Dance" is presented on April 29. Boys in white costume walk around with long sword in ancient style. In Rensho temple, additionally, is held Jusankoesbiki ceremony, where 3-meter rice cake pole is presented. In August is held Ryozen Taiko Festival and all the people enjoy it. Traditional activities are life cultural assets. They are to be succeeded toward the future.